



Cisco UC Integration for Microsoft Lync 10.6 ユーザ ガイド

[ユーザ ガイド 2](#)

[概要 2](#)

[コール 2](#)

[ボイス メッセージの確認 4](#)

[Click to Call 5](#)

[チャットの開始 6](#)

[WebEx ミーティングの作成 6](#)

[カスタマイズ 7](#)

[アクセシビリティ 9](#)

[トラブルシューティング 11](#)

Revised: June 11, 2015,

ユーザガイド

概要

Cisco UC Integration for Microsoft Lync によろこそ。このアプリケーションは、Cisco Unified Communications の広範な機能セットへのアクセスを提供することにより、Microsoft Lync のプレゼンスとインスタントメッセージの機能を拡張します。以下が可能になります。

- Cisco Unified Communications Manager によるボイスおよびビデオ コールの発信と受信。
- Microsoft Lync から直接、ドラッグアンドドロップおよび右クリックしてコールを発信。
- Microsoft Lync でのインスタントメッセージとプレゼンス統合。
- 通話中の消音、保留、転送。
- ソフトフォンまたはデスクフォンのモード選択。
- 不在着信、発信、着信のコミュニケーション履歴。
- 着信の音声通知および視覚的な通知。
- アドホック会議。
- ビジュアルボイスメール。
- Internet Explorer、Microsoft Outlook、その他の Microsoft Office アプリケーションからの Click to Call。
- Cisco WebEx ミーティングを開始。
- サービス検出。

コール

ドックウィンドウからの通話

手順

-
- ステップ 1** ドッキング可能なウィンドウを選択します。
 - ステップ 2** 検索ボックスで連絡先の名前の入力を開始します。
 - ステップ 3** 検索結果から該当する連絡先を選択します。
 - ステップ 4** 電話番号の横にある通話アイコンを使って通話します。
-

通話履歴からの通話

手順

- ステップ1 ドッキング可能なウィンドウを選択します。
 - ステップ2 [履歴] アイコンを選択します。
ハブウィンドウが開きます。
 - ステップ3 リストから電話番号を選択します。
 - ステップ4 電話番号の横にある通話アイコンを使って通話します。
-

連絡先のドラッグアンドドロップ

Microsoft Lync の連絡先をドラッグアンドドロップして通話を開始できます。

手順

- ステップ1 Microsoft Lync で連絡先を選択します。
 - ステップ2 ドッキング可能なウィンドウに連絡先をドラッグアンドドロップします。
連絡先にコールが発信されます。
-

ビデオでの通話の開始

手順

- ステップ1 ハブウィンドウで、[ファイル]>[オプション] を選択します。
 - ステップ2 [コール] タブを選択します。
 - ステップ3 [常にビデオで通話を開始] を選択します。
 - ステップ4 [適用] を選択します。
-

デフォルト番号での通話の開始

Microsoft Lync から通話を開始するときに連絡先のデフォルト番号を使えます。

手順

ステップ1 ハブウィンドウで、[ファイル]>[オプション]を選択します。

ステップ2 [コール]タブを選択します。

ステップ3 [デフォルトの番号にコールする]を選択します。

ステップ4 [適用]を選択します。

希望する電話機を選択

手順

ステップ1 ハブウィンドウで、[電話コントロール]ドロップダウンメニューを開きます。

ステップ2 希望する電話機を選択します。

通話情報ウィンドウを表示

接続された着信コールの連絡先や他の情報を表示することができます。これらの情報ウィンドウは、コールが接続された後、Microsoft Internet Explorer の新しいタブまたはウィンドウに表示されます。

手順

ステップ1 ハブウィンドウで、[ファイル]>[オプション]を選択します。

ステップ2 [コール]タブを選択します。

ステップ3 [コール応答時に情報を表示]を選択します。

ステップ4 [適用]を選択します。

ボイス メッセージの確認

手順

ステップ1 ハブウィンドウでボイス メッセージのタブを選択します。

ステップ2 再生するメッセージを選択して、ボイス メッセージを聞くことができます。

メッセージを削除するには、メッセージを右クリックして [削除] を選択します。

Click to Call

Microsoft Outlook からの通話

手順

ステップ 1 受信トレイでメールを選択します。

ステップ 2 次のいずれかのオプションを使用して、通話を作成できます。

- リボンメニューで、[*sender_name*に発信] を選択します。
 - リボンメニューで、[受信者] ドロップダウンリストを選択します。通話する受信者を選択します。
-

Microsoft Office アプリケーションからの通話

手順

ステップ 1 現在のドキュメントで電話番号を強調表示します。

ステップ 2 次のいずれかのオプションを使用して、通話を開始します。

- リボンメニューで、次のいずれかを選択します。
 - コール
 - [編集してコール] - 通話する前に電話番号を編集できます。
 - Microsoft Word または Microsoft Excel では、右クリックして次のいずれかのメニュー オプションを選択できます。
 - コール
 - [編集してコール] - 通話する前に電話番号を編集できます。
-

Internet Explorer からの通話

手順

ステップ 1 Internet Explorer の Web ページで電話番号をハイライトします。

ステップ 2 右クリックして次のいずれかを選択します。

- コール
 - [編集してコール] - 通話する前に電話番号を編集できます。
-

チャットの開始

Microsoft Lync のチャットセッションは Cisco UC Integration for Microsoft Lync から開始できます。

はじめる前に

この機能は、Microsoft Lync 2010 または Microsoft Lync 2013 でのみ利用できます。

Microsoft Lync が起動していない場合、またはユーザがログインしていない場合はこの機能は利用できません。

手順

ステップ 1 Cisco UC Integration for Microsoft Lync の検索結果、通話履歴のタブ、またはボイスメールのタブで、連絡先を右クリックします。

ステップ 2 [チャット] を選択します。

WebEx ミーティングの作成

手順

ステップ 1 次のいずれかから 1 つまたは複数の連絡先を選択します。

- Microsoft Lync 連絡先リスト
- 通話履歴リスト
- ボイスメール

- 検索結果

ステップ2 右クリックして[インスタントWebExミーティング]を選択します。

カスタマイズ

オーディオ デバイスの選択

手順

- ステップ1** ハブウィンドウで、[ファイル]>[オプション]を選択します。
[オプション]ウィンドウが開きます。
- ステップ2** [音声]タブを選択します。
- ステップ3** スピーカー、マイク、呼出音/アラートのオプションを選択します。
- ステップ4** [適用]を選択します。
-

オーディオ デバイスの整列

複数のオーディオデバイスがある場合、それらに優先順位を付けることができます。

手順

- ステップ1** ハブウィンドウで、[ファイル]>[オプション]を選択します。
- ステップ2** [詳細]を選択します。
- ステップ3** オーディオデバイスを選択し、上下の矢印を使用して優先順位を設定します。
-

ビデオ デバイスの選択

手順

- ステップ1** ハブウィンドウで、[ファイル]>[オプション]を選択します。

[オプション] ウィンドウが開きます。

ステップ 2 [ビデオ] タブを選択します。

ステップ 3 カメラを選択します。

ステップ 4 [適用] を選択します。

ビデオ デバイスの整列

複数のビデオ デバイスがある場合、それらに優先順位を付けることができます。

手順

ステップ 1 [ファイル]>[オプション] を選択します。

ステップ 2 [ビデオ] タブを選択し、[詳細] を選択します。

ステップ 3 カメラを選択し、上下の矢印を使用して優先順位を設定します。

電話アカウントの追加

手順

ステップ 1 [ファイル]>[オプション] を選択します。

ステップ 2 [電話アカウント] を選択します。

ステップ 3 (任意) [詳細] を選択して、Cisco Unity Connection サーバ情報を入力します。

ステップ 4 Cisco Unity Connection アカウントのユーザ名とパスワードを入力します。

ミーティング アカウントの追加

手順

-
- ステップ1 [ファイル]>[オプション]を選択します。
 - ステップ2 [ミーティング]タブを選択します。
 - ステップ3 [アカウントの編集]を選択します。
 - ステップ4 [WebEx サイト] ドロップダウン リストから [新しいサイト] を選択します。
 - ステップ5 サイトを入力して、提供されているフィールドにユーザ名とパスワードを関連づけます。
 - ステップ6 [OK] を選択します。
-

カレンダーの統合

手順

-
- ステップ1 [ファイル]>[オプション]を選択します。
 - ステップ2 [統合]タブを選択します。
 - ステップ3 アプリケーションと統合するカレンダーを選択します。
-

アクセシビリティ

キーボード ショートカット

グローバル ショートカット

動作	キーボードのショートカット
ドックウィンドウへのアクセス ヒント ドックウィンドウを表示するには： <ol style="list-style-type: none">1 ハブウィンドウを開きます。2 [表示]>[ドックウィンドウを表示]を選択します。	Ctrl+Shift+?

動作	キーボードのショートカット
コンテキストメニューを開く	[メニュー] キー Shift+F10

着信コール

動作	キーボードのショートカット
コールに応答する	Ctrl+L
コールを拒否する	Ctrl+D
チャットでコールに応答する	Ctrl+R

アクティブコール

動作	キーボードのショートカット
コールの終了	Ctrl+K
全画面表示モードのオンとオフを切り替える	Ctrl+Shift+F
セルフビュービデオを表示または非表示にする	Ctrl+Shift+B
オーディオをミュートまたはミュート解除する	Ctrl+下矢印
ビデオを開始または停止する	Ctrl+Shift+V
コールウィンドウをドッキングまたはドッキング解除する	Ctrl+Alt+P
コールを保留または再開する	Ctrl+Shift+H
キーパッドを開くまたは閉じる	Ctrl+Shift+K ヒント キーボードでキーパッドの数字を入力します。
音量を上げる	Ctrl+Shift+上矢印
音量を下げる	Ctrl+Shift+下矢印
詳細なメニューを開くか閉じる	Ctrl+Shift+プラス
コールが保留中のときに [マージ] メニューを開く	Ctrl+M

動作	キーボードのショートカット
コールを転送する	Ctrl+Shift+T
電話会議を開始する	Ctrl+Shift+C
通話に関する統計の表示	Ctrl+Shift+S

フォントのスムージング

Cisco UC Integration for Microsoft Lync のインストールと構成を行う管理者は、フォントのスムージングの方法を制御できます。

ForceFontSmoothing パラメータでは、クライアントまたはオペレーティングシステムによってテキストへのアンチエイリアスが適用されるかどうかを指定します。デフォルトでは、テキストをスムーズにするためのアンチエイリアスがクライアントによって適用されます。

オペレーティングシステムでテキストにアンチエイリアスを適用する場合は、クライアント設定の ForceFontSmoothing パラメータを次のように設定します。

```
<Policies>
  <ForceFontSmoothing>>false</ForceFontSmoothing>
</Policies>
```

トラブルシューティング

プレゼンスの動作

コールに **Cisco UC Integration for Microsoft Lync** を使用した場合に **Microsoft Lync** で予期されるプレゼンスの動作

Microsoft Lync での初期プレゼンスステータス	ソフトフォンを使用したコールでは、ステータスは次に変更されます。	デスクフォンを使用したコールでは、ステータスは次に変更されません。	ソフトフォンを使用したコールを終了すると、ステータスは次に変更されます。	デスクフォンを使用したコールを終了すると、ステータスは次に変更されます。	デスクフォンをマウスで動かすか、アイドルから戻る
応答可能 	通話中/カスタム 	通話中 	応答可能 	応答可能 	X
非アクティブ/アイドル 	通話中/カスタム 	通話中/カスタム 	応答可能 	非アクティブ/アイドル 	応答可能 

退席中/アイドル 	通話中/カスタム 	退席中/アイドル 	応答可能 	退席中/アイドル 	応答可能 
一時退席中/手動 	一時退席中/手動 	一時退席中/手動 	一時退席中/手動 	一時退席中/手動 	X
仕事時間外/手動 	仕事時間外/手動 	仕事時間外/手動 	仕事時間外/手動 	仕事時間外/手動 	X
退席中に表示/手動 	退席中に表示/手動 	退席中に表示/手動 	退席中に表示/手動 	退席中に表示/手動 	X
ビジー/手動 	通話中/カスタム 	通話中/カスタム 	応答可能 	応答可能 	X
ビジー アイドル (5分) - ビジー 	通話中/カスタム 	ビジーアイドル (5分) - ビジー 	応答可能 	ビジーアイドル (5分) - ビジー 	応答可能 
ビジー アイドル (10分) - 退席中 	通話中/カスタム 	ビジー アイドル (10分) - 退席中 	応答可能 	ビジー アイドル (10分) - 退席中 	応答可能 
通話中/手動 	通話中/手動 	通話中/手動 	応答可能 	応答可能 	X
応答不可/手動 	応答不可/手動 	応答不可/手動 	応答不可/手動 	応答不可/手動 	X

この表は、コールに Cisco UC Integration for Microsoft Lync を使用した場合に Microsoft Lync で予期される動作を示しています。



(注) 非アクティブ状態でソフトフォンとデスクフォンを使用した場合で動作が異なるのは、マシンが非アクティブの状態ユーザがソフトフォンを使って応答すると、マシンがすぐにアクティブになるためです。

プレゼンスの問題

プレゼンスが[通話中]ではなく[ビジー]を表示する

問題の説明：アクティブなコールを実行しているとき、[通話中]ではなく、[ビジー]が表示されます。

解決策：Cisco UC Integration for Microsoft Lync では、[通話中]のカスタムプレゼンス xml ファイルを提供しています。レジストリ キーの設定に関する詳細については、『*Cisco UC Integration for Microsoft Lync 10.6 Administration Guide*』の「*Custom Presence Status*」を参照してください。

プレゼンスの表示が予定どおりに変更されない

問題の説明：アクティブなコールを実行しているとき、Cisco UC Integration for Microsoft Lync がステータスを変更しません。

解決策：Cisco UC Integration for Microsoft Lync は特定のシナリオでステータスを変更します。詳細については、「プレゼンスの動作」の項を参照してください。

プレゼンスが[ミーティング中]を表示しない

問題の説明：ミーティングが始まり、ミーティングのタブにミーティングが表示されているのに、プレゼンスが変更されません。

解決策：[ミーティング中]へのプレゼンスの変更は、Microsoft Lync が制御します。次の点を確認します。

- Microsoft Lync が Microsoft Lync サーバに接続されていること。
- Exchange Web Service (EWS) が Lync に導入されていること。
- 次の Microsoft Lync サーバパラメータの値を確認します。
 - CalendarStatePublicationInterval
 - WebServicePollInterval

詳細については、Microsoft Lync のマニュアルを参照してください。

プレゼンスが変更されない

問題の説明：デスクフォンを使ってコールを発信すると、プレゼンスが変更されません。

解決策：デスクフォンを使う場合、コンピュータがアイドル状態になっている可能性があります。ステータスやプレゼンスの詳細については、「プレゼンスの動作」の項を参照してください。

通話中およびミーティング中に表示されるプレゼンス

問題の説明：電話中およびミーティング中の場合、表示されるプレゼンスは何でしょうか。

解決策：Cisco UC Integration for Microsoft Lync では、[ミーティング中]、[通話中]、および[ビジー]のプレゼンスステータスは、どれも同じ優先度を持っており、Microsoft Lync では同じように扱われます。最後に設定されたプレゼンスが、最後に表示されます。

手動でのプレゼンスのオーバーライド

問題の説明：手動でプレゼンスを[退席中]に変更すると、コールを実行しても[通話中]に変わりません。手動でプレゼンスを[ビジー]に変更すると、コールを実行したときにステータスは[通話中]に変わります。

解決策：Cisco UC Integration for Microsoft Lync では、[退席中]プレゼンスステータスは、[ミーティング中]、[通話中]、および[ビジー]のプレゼンスステータスよりも優先度が高くなります。

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>